

授業科目 看護の統合と実践 I	担当講師名 専任教員	単位数 1	時間数 30	履修年次・前／後	
				2年次／前期	
講義のねらい	1 生命と生活を守ることを基本とし、既習の知識・技術を統合し、患者を総合的に捉え、患者のニーズにあった看護を提供できる基礎的能力を身につける。 2 災害発生直後に生じる健康問題、看護の役割を学び、災害直後の看護支援に必要な基礎的な知識・技術を理解する。				
授業形態	講義・演習		教科書	担当及び時間	
講義内容	1 災害の基本的知識 1) 災害の種類 (1) 自然災害 (2) 人為災害 2) 災害の種類による傷病の特徴 3) 鹿児島県の災害の歴史 災害の特徴 4) 災害に関連する法律 (1) 災害対策基本法 (2) 災害救助法 2 災害サイクルと健康問題 1) 急性期 2) 亜急性期 3) 慢性期 4) 静穏期 5) 前兆期 3 災害時の看護活動 1) 看護の役割 2) 看護活動 3) 看護者自身の防衛 心のケア 支援者のストレス反応		①	14	
	4 災害時の応急処置の方法 演習: 救急救命講習の受講 (普通救命講習Ⅱに参加する) 5 災害救助活動 (1) 居住地の災害活動の実際及び災害活動演習の災害看護の実践 6 鹿屋市における防災・減災対策 演習: (1) 看護学生が考える地域の防災計画 (2) 地域のハザードマップの作成 (3) 災害時の多数傷病者受け入れ態勢作り		②	16	
教科書	① ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践 ③ 災害看護 (メディカ出版) ② 系統看護学講座 専門 災害看護学・国際看護学 看護の統合と実践3 (医学書院)				
参考文献	1 系統看護学講座 専門 看護学概論 基礎看護学Ⅱ (医学書院) 3 必要時は資料を配付する。 4 DVD VOL.1 目で見える災害看護 災害看護の基礎知識と災害急性期の医療・看護 VOL.2 目で見える災害看護 災害時の地域における医療・看護				
評価方法	終講試験 1～3 で 50 点 4～6 で 50 点 合計 100 点				
備考欄	・教員とのコンタクトについては、授業終了後または終講時に説明する。 ・演習・応急処置・援助活動参加時に必要な準備については、事前に示す。 ・演習前 DVD を視聴しておくこと。 ・提示された課題やレポート等については期限を厳守すること。 ・災害時の応急処置の方法については、救急救命講習の受講をすること。				